

教科	音楽	履修学年	第1学年	指導時間	45 単位時間	担当者	片平 真司
使用教科書	教育芸術社	補助教材	歌集「私たちの合唱曲集広島県版」(教育芸術社)、ワーク「音楽のパートナー」(正進社)、アルトリコーダー(ヤマハ)				
目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う						
評価の観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫		音楽表現の技能		鑑賞の能力	
趣旨	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。		創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
評価資料	授業観察、評価カード、実技テスト、定期テスト、評価カード	授業観察、ワークシート、実技テスト、定期テスト		授業観察、実技テスト、レポート、定期テスト		授業観察、ワークシート、紹介文、定期テスト	

指導計画

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
4	○拍の流れによって明るい声で歌おう ・大野東中校歌 ・Forever ○曲のまとまりを感じとって表現しよう ・主人は冷たい土の中に ・春一第1楽章ー 。朝の風に	8	1 拍やリズムの特徴を生かして歌う。 2 明るい響きのある声で歌う。 ・歌唱「大野東中学校校歌」(リズム、旋律、音色) ・歌唱「Forever」(リズム、旋律、音色) 1 曲のまとまりを感じとって表現する。 2 曲の構成に気をつけながら曲想の変化を感じ取って聴く。 3 曲が出来た時代背景を知り、曲の特徴との関係を感じ取る。 ・歌唱「主人は冷たい土の中に」(旋律、構成) ・鑑賞「春一第1楽章ー」(強弱、テクスチュア、構成) ・朝の風に(構成・リズム) ※リズムカードによるリズム練習(帯タイム)	音楽への関心・意欲・態度	・その曲を特徴づけている要素に関心を持ち、主体的に音取りをしている。 ・姿勢や発音に気をつけ意欲的に歌っている。 ・曲の構成やまとまり、時代背景と曲との関係などを積極的に聴き取って発言や文で表現しようとしている。
			音楽表現の創意工夫	・拍やリズムの特徴を生かした歌い方を考えることができる。 ・曲の構成やまとまりを生かした表現を考えることができる。	
			音楽表現の技能	・体でリズムをとって歌うなど、拍やリズムの特徴を生かして歌うことができる。 ・明るい響きのある声で歌うことができる。 ・曲の構成やまとまりを生かして歌で表現できる。	
5	○詩と曲想のかかわりを感じ取る ・浜辺の歌 ・魔王 ○音符や階名に親しみながら基礎を身につけよう。 ・アルトリコーダー	7	1 詩の内容と曲想の変化のかかわりを感じ取って聴く。 2 情景を思い浮かべながらそれにふさわしい歌い方や朗読を工夫する。 3 フレーズの特徴を生かした表現を工夫する。 ・歌唱「浜辺の歌」(強弱、構成) ・鑑賞「魔王」(リズム、旋律、強弱) 1 音符や階名に親しみながらアルトリコーダーの基礎を身につける。 ・器楽「楽器ガイド」(構造、指番号、タンギング) ・器楽「アルトリコーダー」 ※リズムカードによるリズム練習(帯タイム)	音楽への関心・意欲・態度	・詩の内容や場面に関連して、曲の雰囲気や曲想の変化に関心をもって聴いている。 ・情景を思い浮かべふさわしい歌い方や朗読を考えることに意欲的である。 ・音符や階名に親しみながらアルトリコーダーの基礎を身につけている。
			音楽表現の創意工夫	・情景を思い浮かべ、それにふさわしい歌い方を考えることができる。 ・フレーズの特徴を生かした表現方法を考えることができる。	
			音楽表現の技能	・詩や情景が思い浮かぶように、曲想の変化がわかるように歌い、朗読することができる。 ・フレーズの特徴を生かして歌うことができる。 ・アルトリコーダーの基礎が身につけられる。	
6	○合唱の喜びを体得しよう ・課題曲 ・自由曲	9	1 響きのある豊かな発声をする。 2 パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱する。 3 曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫する。 ・合唱コンクール課題曲(テクスチュア、強弱、音色) ・合唱コンクール自由曲(テクスチュア、強弱、速度、音色) ※リズムカードによるリズム練習・アドリブ練習(帯タイム)	音楽への関心・意欲・態度	・響きのある声づくりのための姿勢や発声に意欲的に取り組むことができる。 ・課題にあった目標を立てることができ、音取りやパート練習を頑張ることができる。
			音楽表現の創意工夫	・歌詞の内容や曲想から歌に対するイメージを広げ、歌唱表現を工夫することができる。 ・曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした表現の工夫ができる。	
7	1学期小計 (16)	1	言語活動 ・詩の内容がどのように曲想とかわかっているかを考え、2つを結び付けて言葉で説明する。 ・フレーズを生かした歌い方をするために、歌い方の工夫を具体的に考える。	鑑賞の能力	・声や音楽の特徴から、場面や心情を思い浮かべることができる。 ・詩の内容と曲想の変化のかかわりを感じ取って聴くことができる。
			音楽表現の技能	・響きのある豊かな声で合唱し、曲想や全体の響きを感じ取った歌唱表現ができる。 ・パートの特徴と役割を感じ取って、求められる歌い方や声の発声で歌唱しようとしている。	

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
			言語活動 ・強弱や速度また曲想など曲にあった歌い方をするための工夫を、楽譜や歌詞に書きこむ。 ・合唱活動を通して目標や課題を見つけ、それを伝えあったり、自己評価を書く。	鑑賞の能力	・響きのある声や歌い方の違いについて、聴きあい批評することができる。 ・合唱曲の歌詞や背景を理解して総合的に聴くことができる。
11	○場面や心情をイメージしよう ・映画音楽 ・赤とんぼ ○基礎を身につけ、簡単な曲を吹いてみよう。 ・アルトリコーダー	7	1 楽器の音色や場面による音楽の変化など、イメージをもたらす音楽の諸要素を感じ取り、映画音楽の紹介文を書く。 2 歌詞に込められた思いや情景を感じ取って表現の工夫をする。 ・鑑賞「色々な映画音楽」(リズム, 旋律, 強弱, 速度, 音色) ・歌唱「赤とんぼ」(旋律, 音色) ・器楽「アルトリコーダー」 ※リズムカードによるリズム練習・アドリブ練習(帯タイム)	音楽への関心・意欲・態度	・オーケストラの多彩な音色、場面による音楽の変化などに積極的に耳を傾けている。 ・歌詞を朗読し、込められた思いを感じ取ろうとしている。 ・美しく豊かな音で楽器を吹こうと意欲を持ち、練習にまじめに取り組んでいる。
12	期末テスト	1		音楽表現の創意工夫	・歌詞に込められた思いや情景を感じ取って表現の工夫をすることができる。 ・言葉の抑揚を生かして音楽的にまとまりのある旋律を作ることができる。
		2学期小計(17)	言語活動 ・映画音楽などのイメージをもたらす音楽の諸要素を感じ取り、紹介文を書く。 ・イメージを交流しあい班で1つの創作をする。 ・歌詞や音楽のニュアンスを感じ取り、色などのイメージであらわし、歌い方を工夫する。	鑑賞の能力	・オーケストラの多彩な音色を味わい、楽曲の場面による音楽の変化を理解して聴いている。 ・イメージをもたらす音楽の諸要素を感じ取り、映画音楽の紹介文を書くことができる。
1	○伝統音楽と民俗音楽に親しもう。 ・箏曲「六段の調」 ・さくらさくら ・平調子の旋律創作 ・日本の民謡 ・アジアの諸民族の音楽	7	1 奏の音色や民謡の声などの特徴をとらえ、日本の音階のひびきを味わいながら演奏したり、創作をしたりする。 2 余韻の変化、速度の変化など、日本の音楽の特徴を聴き取る。 3 アジア各国の音楽や声の特徴を感じ取り、気候や風土など暮らし(生活)との関係を考える。 ・鑑賞「箏曲「六段の調」」(音色, 速度, 形式) ・鑑賞「日本の民謡」(音色) ・器楽「さくらさくら」(箏の奏法) ・創作「平調子の旋律を作ろう」(リズム, 旋律) ・鑑賞「アジアの諸民族の音楽」(リズム, 旋律, テクスチャ, 音色) ※リズムカードによるリズム練習・アドリブ練習(帯タイム)	音楽への関心・意欲・態度	・箏の音に興味や関心をもち、意欲的に鑑賞したり演奏しようとしている。 ・日本やアジアの諸民族の音楽に関心をもち、その特徴を意欲的に感じ取ろうとしている。
2	学年末テスト	1		音楽表現の創意工夫	・箏の音の特徴や奏法による音色の違いを感じ取って、それらを生かして表現を工夫している。 ・平調子の音の日本やアジアの諸民族の音楽のもつさまざまな特徴や曲想の違いを感じ取っている。
			言語活動 ・音楽を形作っている要素、構造を知覚し、ワークシートに書く。 ・音楽の特徴を他の側面(歴史的背景, 民族独自の言語や情感)と関連付けて鑑賞し、総合的な鑑賞文を書く。	音楽表現の技能	・箏の楽器の特性や響きの特徴を理解して、奏法に気をつけながら演奏することができる。 ・西洋にはない独特の民謡の発声を理解して歌っている。
				鑑賞の能力	・箏曲を通して、日本の伝統的な音楽の特徴を理解して聴いている。 ・各地の民謡の成り立ちや風土などの背景とかかわらせて音楽を聴いている。 ・音色や音の重なりによって生まれる音楽のおもしろさなど諸民族の音楽の固有の美しさを聴き取って言葉で表すことができる。
3	○美しいハーモニーを作ろう ・アルトリコーダーでアンサンブル ・unlimited(アンリミテッド) ・旅立ちの日に	4	1 ハーモニーの美しさを感じ取って演奏する。 2 旋律の重なり方の種類や変化を感じ取り、歌い方を工夫する。 ・器楽「アルトリコーダーLESSON 3」(サミング) ・歌唱「unlimited(アンリミテッド)」(テクスチャ, 強弱, 形式) ・歌唱「旅立ちの日に」(テクスチャ, 強弱, 形式) ※リズムカードによるリズム練習・アドリブ練習(帯タイム)	音楽への関心・意欲・態度	・ハーモニーの美しさを味わうために、音取りや歌練習で、パートの音を正しく歌い、他の音を聞きながら歌おうとしている。
				音楽表現の創意工夫	・旋律の重なり方の種類や変化を聴き取り、それによって生まれる音楽の味わいや広がりを感じ取って演奏することができる。
				音楽表現の技能	・音取りや歌練習を通して、ハーモニーの美しさを味わうための美しい発声を身につけている。 ・旋律同士をの重ね方を感じ取り、あわせることに重点をおいて演奏することができる。
		3学期小計(12) 合計(45)	言語活動 旋律の重なり方や美しいハーモニー作りについて意見を書き、その意見を伝え合う。	鑑賞の能力	・旋律の重なり方の種類や変化を聴き取り、それによって生まれる音楽の味わいや広がりを感じ取ることができる。
先生からのアドバイス	学習の進め方(学習方法, 学習形態等)		・歌や合唱を多く行い、変声した声が響くような合唱作りや、生徒自身が積極的に取り組み感動できる合唱になるようにします。 ・アルトリコーダーで簡単な曲が吹けるように継続的に取り組んでいきます。 ・クラシックを中心とする様々な音楽の鑑賞を通して、その良さと魅力を自分で批評するようにします。 ・和楽器や伝統音楽ではゲストティーチャーを招き、本物の音楽を体験できるような機会を作ります。		
	学習上の留意点 受講上の注意		・週に1回しかない教科なので、時間を守り、忘れ物をしないように気をつけましょう。 ・心と体を使って積極的に授業に参加しましょう。周囲とのかかわりを大事にして協力して活動しましょう。 ・定期テストは単元のまとめとして広範囲の問題が出ます。少しずつ勉強しましょう。 ・時々リコーダーやレポートなどの宿題を出します。		